



平成26年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成26年8月8日

上場会社名 日本エアーテック株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6291 URL http://www.airtech.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 平沢 真也
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 大重 一義 TEL 03 (3872) 9192
 四半期報告書提出予定日 平成26年8月12日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年12月期第2四半期の業績 (平成26年1月1日～平成26年6月30日)

(1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年12月期第2四半期	3,664	3.3	76	156.6	176	42.7	123	44.3
25年12月期第2四半期	3,546	△2.0	29	△82.2	123	△48.9	85	△43.0

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年12月期第2四半期	13.73	13.72
25年12月期第2四半期	9.53	9.53

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年12月期第2四半期	12,606	8,807	69.8	975.69
25年12月期	12,471	8,773	70.3	971.87

(参考) 自己資本 26年12月期第2四半期 8,804百万円 25年12月期 8,770百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年12月期	ー	0.00	ー	10.00	10.00
26年12月期	ー	0.00			
26年12月期(予想)			ー	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年12月期の業績予想 (平成26年1月1日～平成26年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,000	1.6	110	142.1	190	3.8	130	2.8	14.42

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年12月期2Q	9,028,500株	25年12月期	9,028,500株
② 期末自己株式数	26年12月期2Q	4,349株	25年12月期	4,349株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年12月期2Q	9,024,151株	25年12月期2Q	9,003,935株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく監査手続きの対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表の監査手続きは終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断される一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（4）業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) キャッシュ・フローの状況	2
(4) 業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第2四半期累計期間	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間における我が国経済は、企業収益の改善や個人消費、雇用情勢等に回復傾向がみられ比較的順調に推移いたしました。しかし、消費増税前の駆け込み需要の反動や原材料価格、エネルギーコストの高騰等依然として先行き不透明な状況にあります。

当社における事業環境は、電子工業分野では、液晶を主とするFPD（平面表示板）に関連する設備投資は厳しい状況が続いていますが、スマートフォン関連及び車載電子機器関連の部品製造設備投資が堅調に推移いたしました。一方のバイオリジカル分野では、製薬工業及び病院・医療とその研究開発施設への設備投資が拡大傾向にあります。

この様な状況の下、電子工業分野では製造装置メーカー及び電子部品メーカーを中心に、そしてバイオリジカル分野では今後成長が期待できる再生医療・病院、製薬及び食品工業を対象に営業強化を図り、顧客ニーズに合致した製品の開発と改良を推進してまいりました。「無菌アイソレーター」「新型パスボックス」「バグキーパーミニ」「PM2.5用クリーンパーティション」など他社にない特徴を有する製品開発を行い、営業面では製品説明会開催及び展示会出展など販売強化に努めてまいりました。生産面では、群馬工場に新たな塗装設備を導入し、より一層の品質向上を図ってまいります。

製品別の販売状況は、「ファンフィルターユニット」「クリーンブース」は減少しましたが、「クリーンルーム」「エアージャワー」「サーマルクリーンチャンバー（超高精度温湿度調整機能付クリーンブース）」「アイソレーター」などが増加したことにより増収となりました。

収益面におきましては、受注時における見積精度の向上、標準品販売の増加、製缶、HEPAフィルター、アルミ加工など徹底した原価低減の実施及び受取配当金が増加したことにより増益となりました。

以上の結果、当第2四半期累計期間の業績は、売上高36億64百万円（前年同期比3.3%増）、営業利益76百万円（同156.6%増）、経常利益1億76百万円（同42.7%増）、四半期純利益1億23百万円（同44.3%増）となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

当第2四半期会計期間末における総資産は126億6百万円と前事業年度末に比べ1億34百万円（1.1%）の増加となりました。

当第2四半期会計期間末における資産、負債及び純資産の状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(資産)

流動資産は96億80百万円であり、前事業年度末に比べ53百万円（0.5%）の減少となりました。主な内訳は商品及び製品の減少によるものです。

固定資産は29億25百万円であり、前事業年度末に比べ1億88百万円（6.9%）の増加となりました。主な内訳は有形固定資産の減価償却費25百万円を計上しましたが、有形固定資産の取得2億22百万円があったことによるものです。

(負債)

当第2四半期会計期間末における負債は37億98百万円であり、前事業年度末に比べ1億円（2.7%）の増加となりました。

流動負債は27億69百万円であり、前事業年度末に比べ10百万円（0.4%）の増加となりました。主な内訳は1年内返済予定の社債1億円の償還がありましたが、支払手形及び買掛金1億41万円の増加によるものです。

固定負債は10億28百万円であり、前事業年度末に比べ90百万円（9.6%）の増加となりました。主な内訳は社債1億円の増加によるものです。

(純資産)

純資産は88億7百万円であり、前事業年度末に比べ34百万円（0.4%）の増加となりました。主な内訳は配当金90百万円を支出しましたが、四半期純利益1億23百万円を計上したことによるものです。

(3) キャッシュフローの状況

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、前事業年度末に比べ35百万円増加し、53億87百万円となりました。

各キャッシュ・フローの状況はつぎのとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間の営業活動の結果、得られた資金は、3億68百万円（前年同期比3億65百万円増）となりました。これは主に、税引前四半期純利益の計上1億76百万円、仕入債務の増加1億41百万円があったことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間の投資活動において使用した資金は、2億16百万円(前年同期比2億14百万円の支出増)となりました。これは主に有形固定資産の取得2億14百万円によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間の財務活動において使用した資金は1億16百万円(前年同期比46百万円の支出増)となりました。これは主に、配当金の支払額89百万円があったことによるものです。

(4) 業績予想に関する定性的情報

当第2四半期累計期間における業績及び当社を取り巻く経営環境等を勘案した結果、平成26年2月13日に公表しました平成26年12月期通期業績予想を修正いたしました。

詳細については、平成26年8月4日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年12月31日)	当第2四半期会計期間 (平成26年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,875,062	5,910,268
受取手形及び売掛金	2,683,151	2,688,417
有価証券	95,431	95,438
商品及び製品	587,512	414,745
仕掛品	278,320	280,397
原材料及び貯蔵品	172,301	198,752
その他	54,675	97,863
貸倒引当金	△12,616	△5,459
流動資産合計	9,733,840	9,680,423
固定資産		
有形固定資産		
土地	1,691,534	1,691,534
その他	647,950	835,561
有形固定資産合計	2,339,484	2,527,095
無形固定資産		
	30,479	25,415
投資その他の資産		
その他	404,105	393,561
貸倒引当金	△36,392	△20,119
投資その他の資産合計	367,713	373,441
固定資産合計	2,737,677	2,925,953
資産合計	12,471,518	12,606,376
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,715,649	1,857,352
短期借入金	400,000	400,000
1年内返済予定の長期借入金	35,820	33,820
未払法人税等	5,356	63,403
賞与引当金	50,700	49,966
受注損失引当金	7,153	5,134
その他	544,859	360,041
流動負債合計	2,759,539	2,769,717
固定負債		
社債	100,000	200,000
長期借入金	139,195	122,085
退職給付引当金	673,865	685,060
その他	25,625	21,753
固定負債合計	938,685	1,028,898
負債合計	3,698,224	3,798,615

(単位:千円)

	前事業年度 (平成25年12月31日)	当第2四半期会計期間 (平成26年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,493,510	1,493,510
資本剰余金	1,500,930	1,500,930
利益剰余金	5,773,746	5,807,385
自己株式	△3,298	△3,298
株主資本合計	8,764,888	8,798,527
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	5,440	6,269
評価・換算差額等合計	5,440	6,269
新株予約権	2,964	2,964
純資産合計	8,773,293	8,807,761
負債純資産合計	12,471,518	12,606,376

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年6月30日)
売上高	3,546,148	3,664,102
売上原価	2,920,645	2,970,786
売上総利益	625,502	693,315
販売費及び一般管理費		
運賃及び荷造費	99,654	93,865
役員報酬	46,406	46,261
給料	199,301	206,904
賞与引当金繰入額	13,306	14,241
退職給付費用	12,630	9,752
その他	224,388	245,772
販売費及び一般管理費合計	595,688	616,797
営業利益	29,814	76,517
営業外収益		
受取利息	736	754
受取配当金	70,100	95,505
その他	29,283	13,362
営業外収益合計	100,120	109,622
営業外費用		
支払利息	3,108	3,255
社債発行費	2,634	2,634
為替差損	-	3,504
その他	371	16
営業外費用合計	6,114	9,411
経常利益	123,819	176,728
税引前四半期純利益	123,819	176,728
法人税、住民税及び事業税	40,077	54,872
法人税等調整額	△2,104	△2,024
法人税等合計	37,972	52,847
四半期純利益	85,846	123,880

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	123,819	176,728
減価償却費	33,098	30,614
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△2,405	△23,428
賞与引当金の増減額(△は減少)	△1,081	△734
退職給付引当金の増減額(△は減少)	20,357	11,195
受注損失引当金の増減額(△は減少)	△2,687	△2,019
受取利息及び受取配当金	△70,837	△96,259
支払利息	3,108	3,255
売上債権の増減額(△は増加)	△328,618	△5,265
たな卸資産の増減額(△は増加)	51,483	144,239
仕入債務の増減額(△は減少)	208,611	141,702
その他	△15,203	△106,993
小計	19,646	273,035
利息及び配当金の受取額	71,015	96,307
利息の支払額	△3,871	△3,438
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△83,836	2,814
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,954	368,719
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△267,679	△264,896
定期預金の払戻による収入	267,395	264,763
有形固定資産の取得による支出	△717	△214,610
その他	△300	△1,284
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,301	△216,028
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	300,000	300,000
短期借入金の返済による支出	△290,000	△300,000
長期借入金の返済による支出	△7,200	△19,110
社債の発行による収入	97,365	97,365
社債の償還による支出	△100,000	△100,000
配当金の支払額	△89,865	△89,627
その他	19,574	△5,064
財務活動によるキャッシュ・フロー	△70,126	△116,436
現金及び現金同等物に係る換算差額	2,935	△1,175
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△65,538	35,079
現金及び現金同等物の期首残高	5,101,509	5,352,737
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,035,970	5,387,816

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。